

A 1 / 4 いたいなまねき

わたしのもとにきなさい。
マタイ 11・28

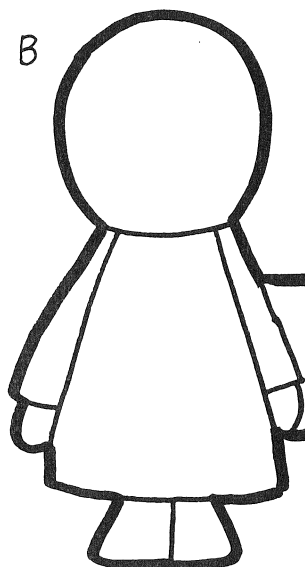


A

B

- ① Aに色をぬり切り取る。イエス様のおなかに切り込みを入れる。
- ② Bに自分の顔を書き、色をぬって切り取る。
- ③ Bの帯部分をAの切り込みに差し入れて左右に動かす。

—— 切り取り線



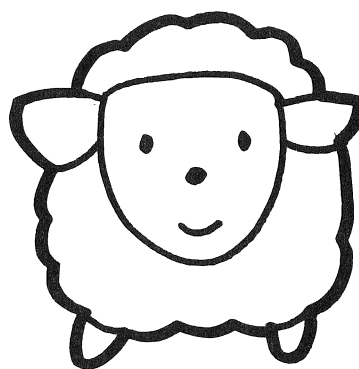
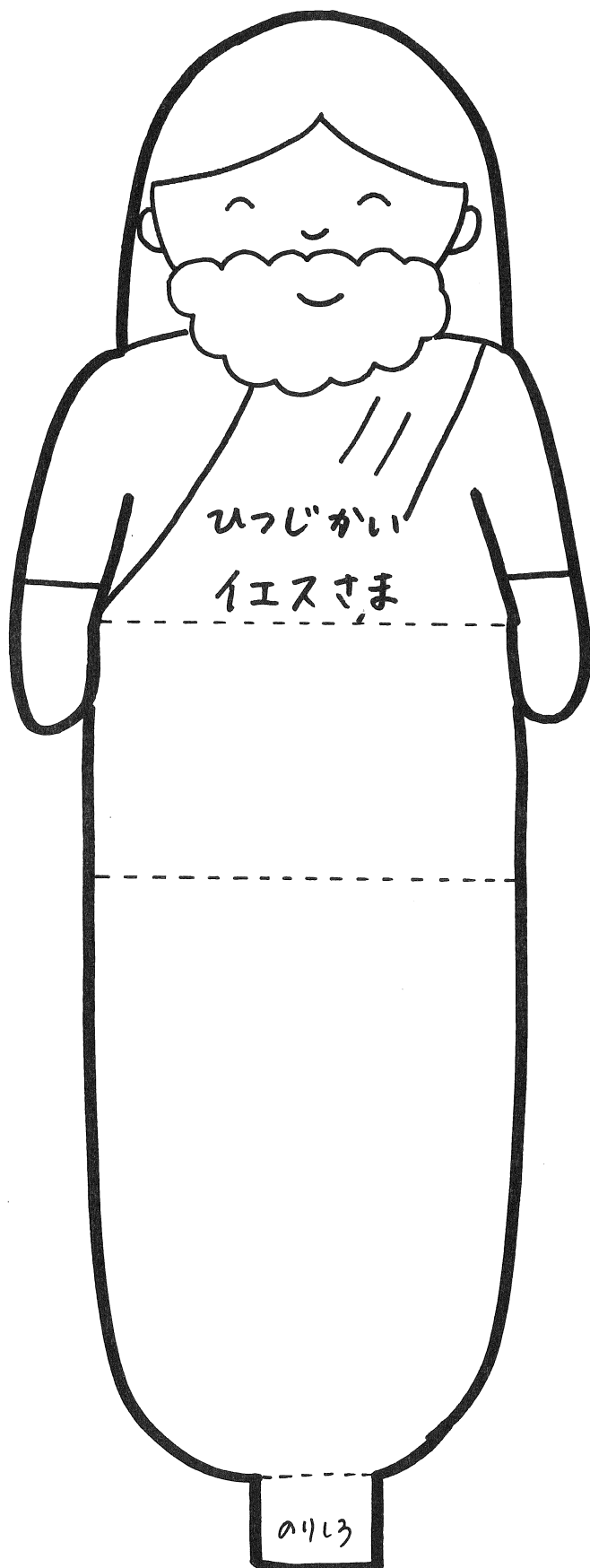
—完成図—



→ 引く

A 1 / 1 1 よいひつじかい

わたしのもとにきなさい。
マタイ 11・28

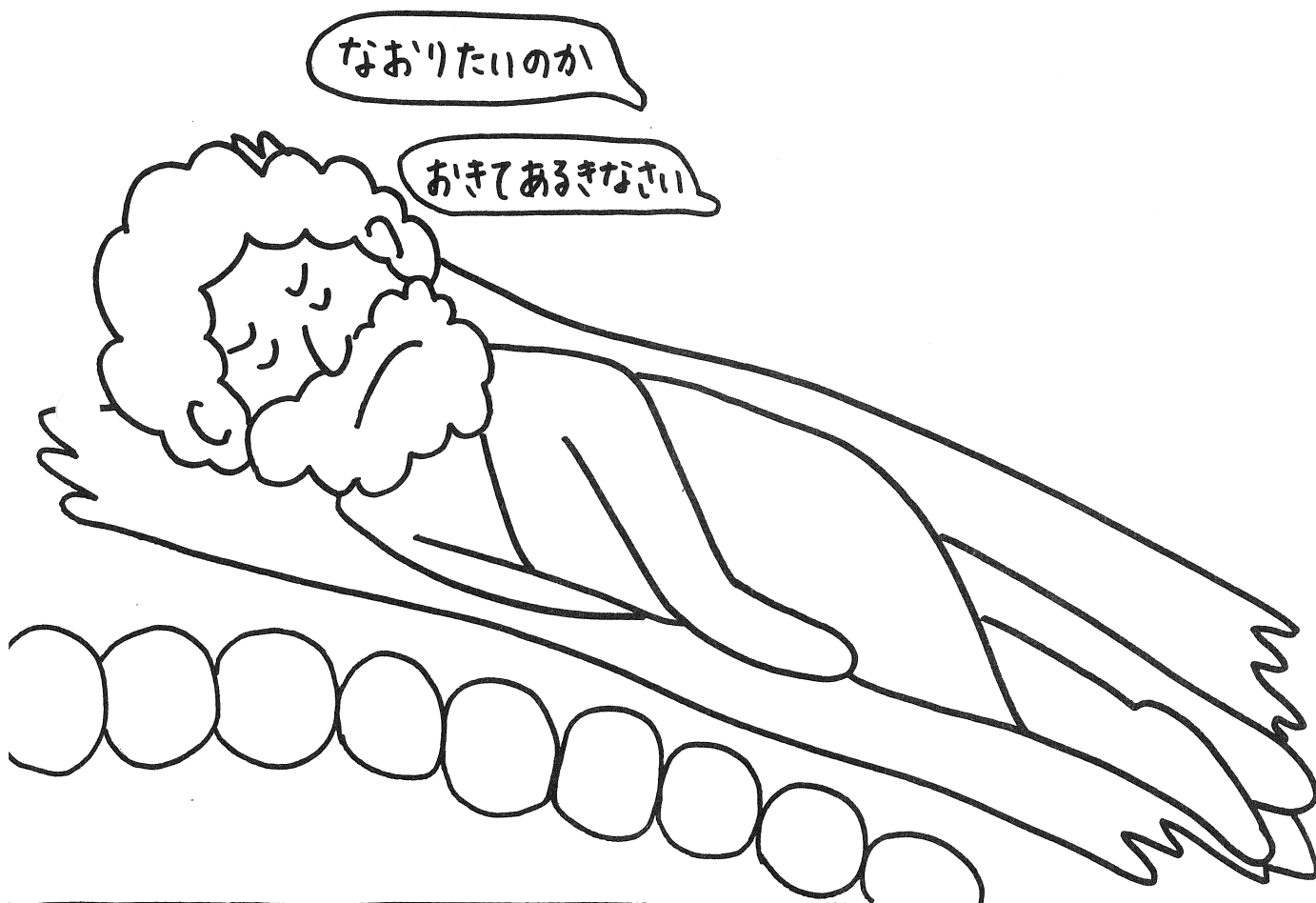


—— 切り取り線
----- 山折り線

- ① イエス様と羊に色をぬり切り取る。
- ② イエス様を組み立てる。
- ③ 羊をイエス様の肩に^は貼る。
- ④ イエス様の手で羊を支える。

— 完成図 —





ひょうきの おとこのひとに。
やさしく こえをかけられる イエスさまを。
きりって はりましょう。

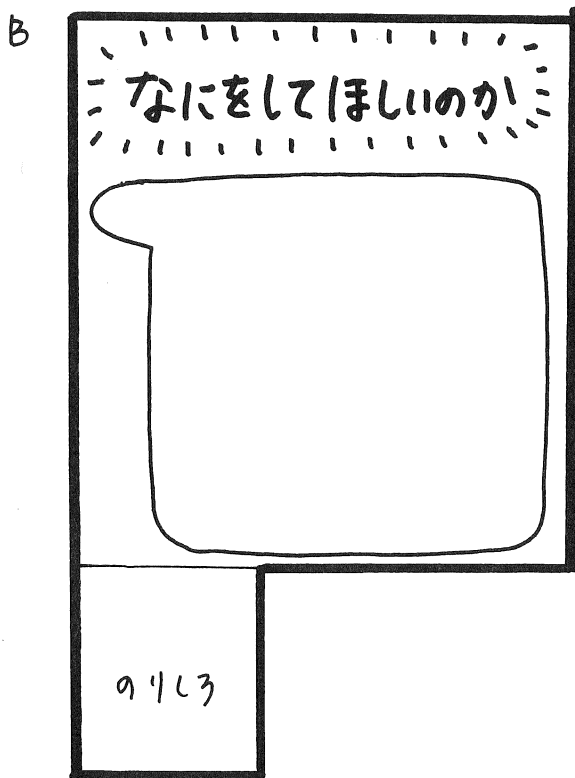
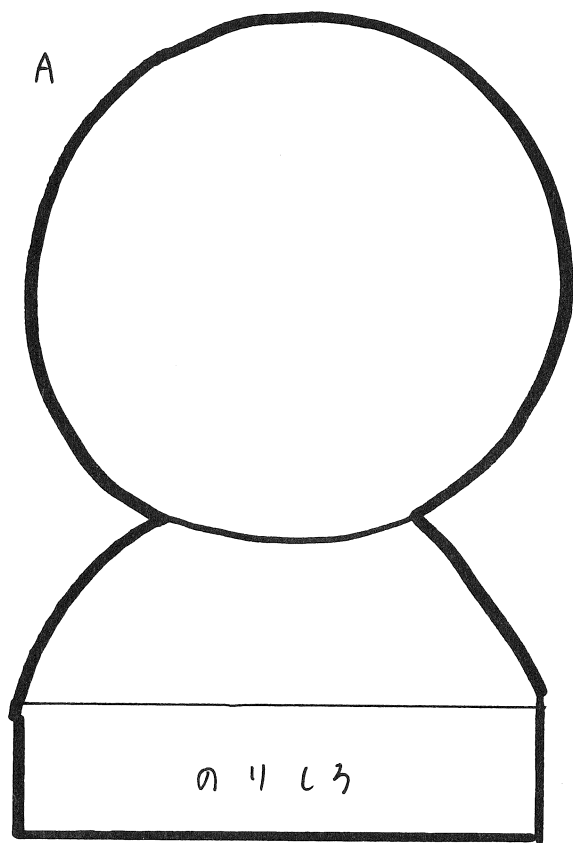
—— 切り取り線




A 1 / 2 5 さけびにこたえて

わたしのもとにきなさい。

マタイ 11・28



- ① Aに自分の顔を書き、色をぬり、切り取る。
- ② Bの  の中に、イエス様に
していただきたいことを書き、
切り取る。
- ③ Cを切り取り車輪にする。
- ④ CにA・Bを ^は貼り付ける。
- ⑤ いつも見えるところに置き、
イエス様にお祈りしよう。

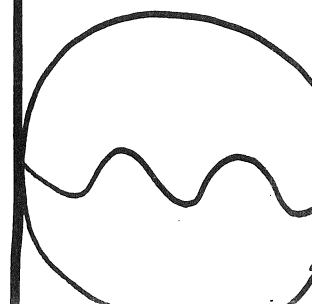
—— 切り取り線

— 完成図 —



C

のりしろ

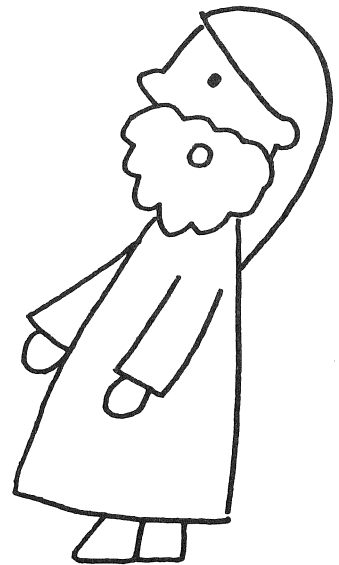
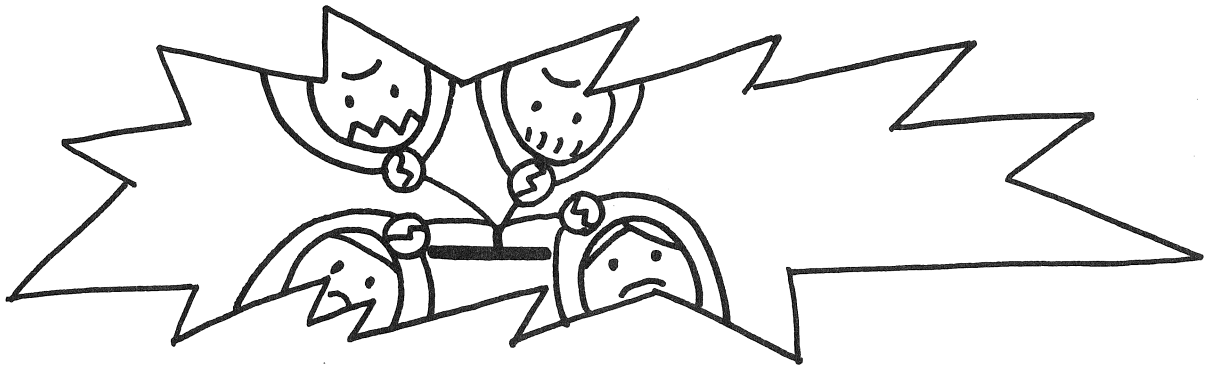


A

2/1 ちゅうぶ のいやし

あいはいつまでも
たえることがない。

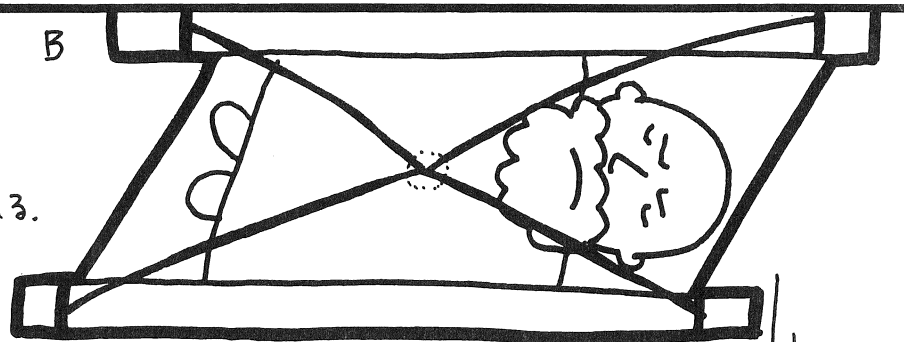
I コリント 13・8



A

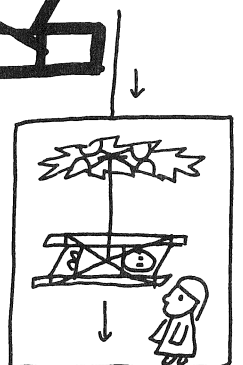
B

- ① 25センチの巾を1本用意する。
- ② A・Bに色をぬり、切り取る。
- ③ A上部一に1か所切り込みを入れる。
- ④ Bの○部に用意した巾の片方の端をセロテープで貼る。もう片方の端をAの切り込みに差し入れる。
- ⑤ Aの裏面から巾を引っ張りゆるめたりして、男の人が屋根から降ろされる様子をみる。



—— 切り取り線

— 完成図 —



A 2/8 あらしをしずめる

あいはいつまでも
たえることがない。
Iコリント 13・8

A

のりしろ

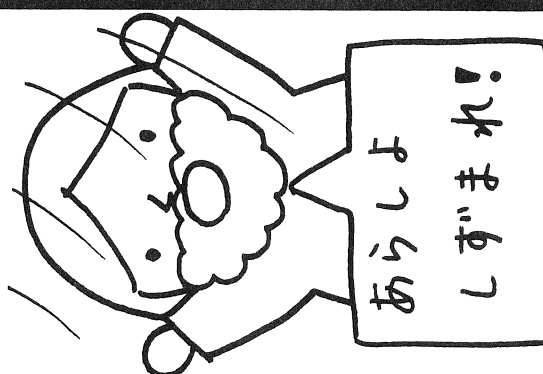
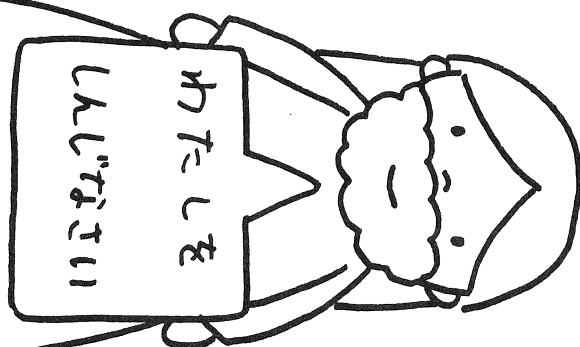
のりしろ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

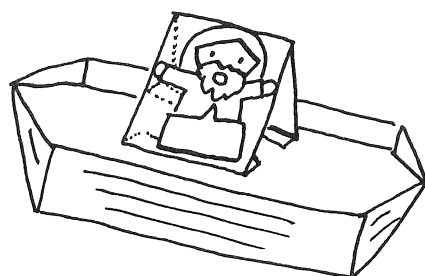
のりしろ



- ① A を切り取り、山折り線を折って船の形にする。
- ② B に色をぬって切り取り、山折り線をおる。
- ③ 船の底に B の のりしろ部分を貼って、B を立たせる。
- ④ 嵐の中のイエス様の言葉と、嵐を静められた後のイエス様の言葉を覚える。

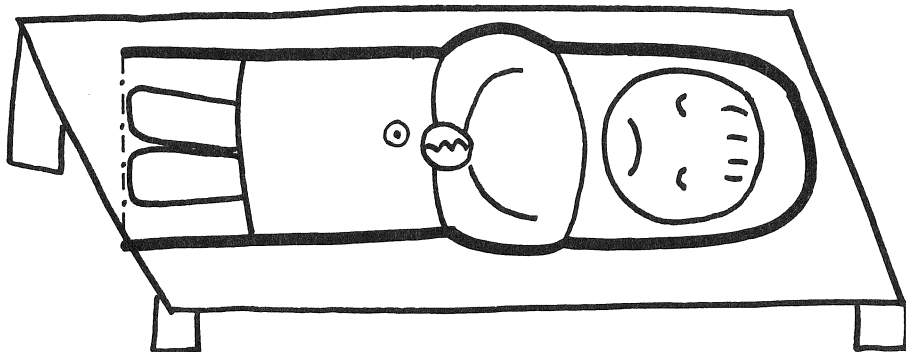
—— 切り取り線
----- 山折り線

— 完成図 —



A 2 / 15 ヤイロのむすめ

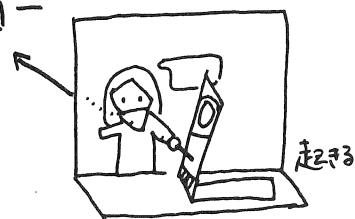
あいはいつまでも
たえることがない。
I コリント 13・8



A

- ① A に色をぬり切り取る。
- ② イエスの足趾の線を谷折りする。
- ③ 少女のまわりを足趾を残して切り、足趾を谷折りに立たせる。
- ④ イエスの手と少女のおなかの◎部に穴をあけ、20センチくらいのひもを通す。
- ⑤ 少女の裏に出たひもをセロテープでとめる。
- ⑥ イエスの手の裏から出したひもを引っ張りゆるめたりして、少女を起き上がらせる。

—— 切り取り線 —— 完成図 —
- - - - 谷折り線 ひもを引く



A

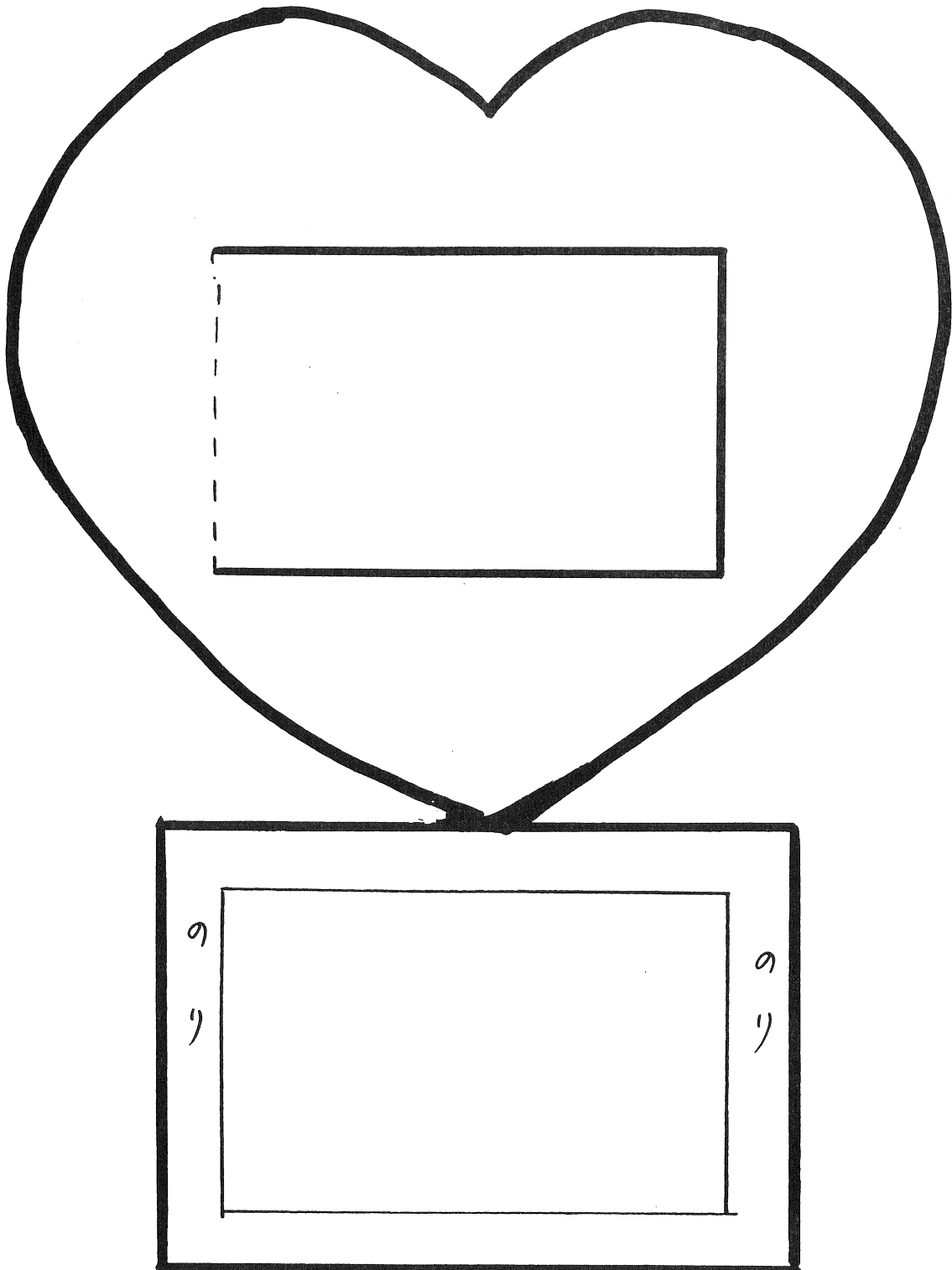
2 / 2 2

さいこう あい
最高の愛

あいはいつまでもたえることがない。

I コリント 13・8

- ①ハートと下の四角を太線で切り取る。
 - ②ハートの中の太線に切り込みを入れる。
 - ③点線を谷折にして戸のように開く。
 - ④四角の中に今日のみ言葉を書く。
 - ⑤ハートの窓からみ言葉が見えるように、裏に四角をはる。
- ※図のようにひもでつり下げようとしても良いでしょう。



A

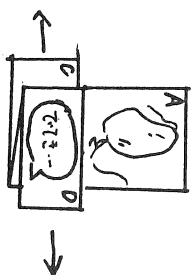
3 / 1 ラザロの復活

しゅがおいしいようなのです。

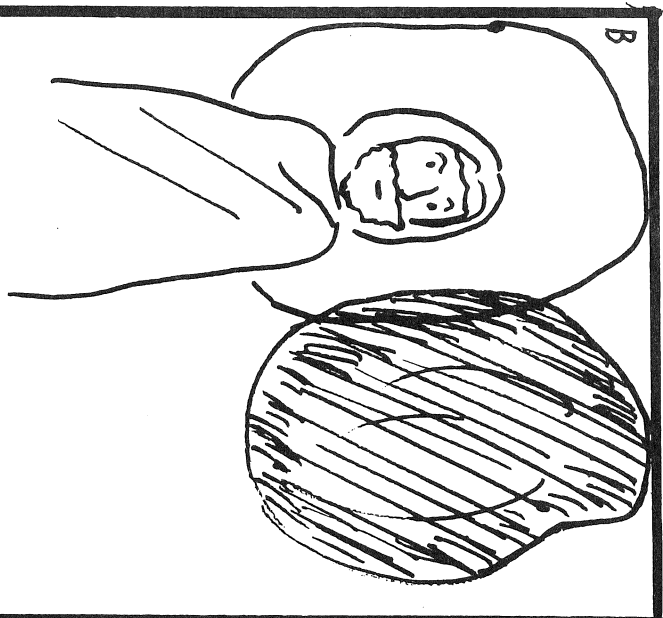
ルカ 19・31

- ①色を塗る。
- ②太い線をはさみで切る。
- ③AをBの裏にはる。
- ④図のように折る。
- ⑤「ラザロ、出てきなさい」と言いながらCとDを引っ張るとよみがえったらラザロが出てきます。

④



谷折
山折



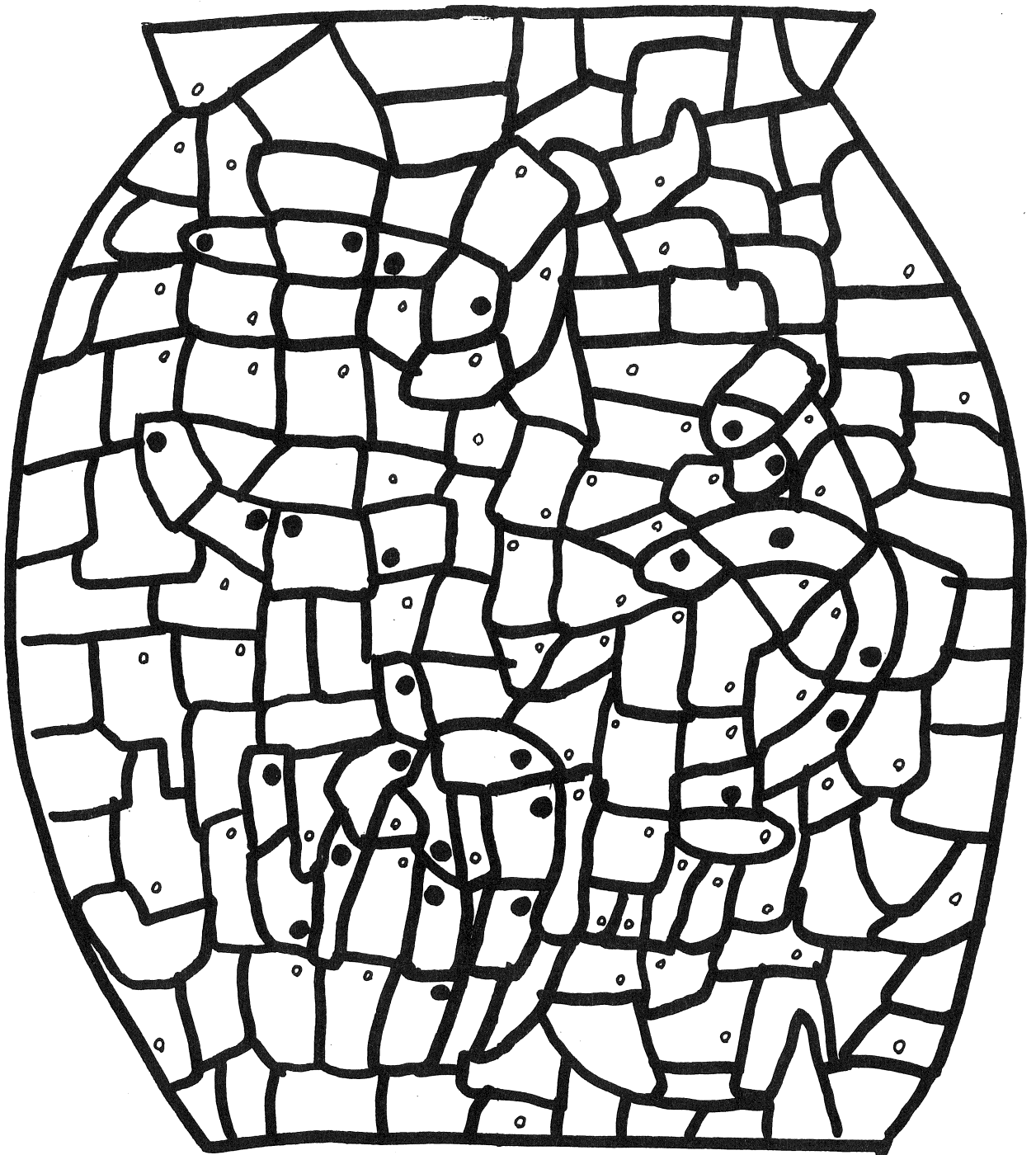
C

D

しゅがおいりょうなのです。

ルカ 19・31

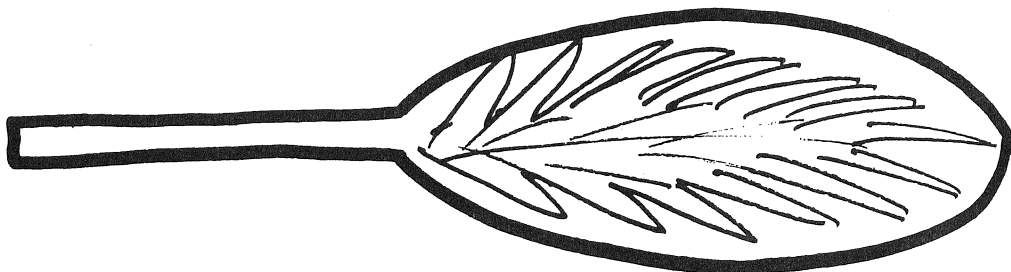
- ①質問をする。「マリヤがイエス様のために用意したものは何でしたか」
- ②●の所を塗る。
- ③出てきた字をみんなで読む。



しゅがおいりょうなのです。

ルカ 19・31

- ①葉の太線と絵の下の太線をはさみで切る。
- ②左の人の手の太線にそって切り込みを入れる。
- ③葉を切り込みに入れて動かしてみる。
- ④絵の中に4つの字が隠されています。探して発表してもらう。



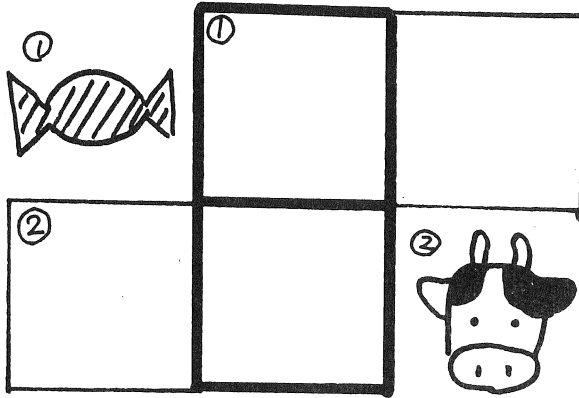
A

3 / 2 2

しゅ てほん
主の手本

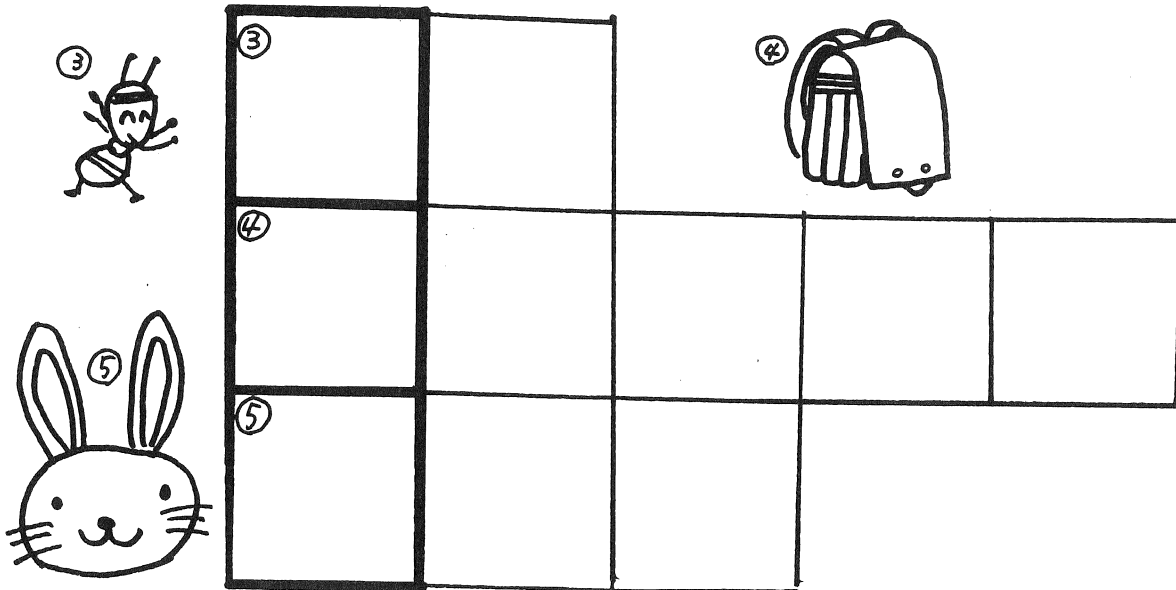
しゅがおいりょうなのです。

ルカ 19・31



- ①絵を言葉にして、絵と同じ番号のマスに字を
下から字を選んで切り取り、マスにはる。
- ②太線のマスを上から読む。
- ③お互いの足を洗うまねをして、どのような気持ちに
なるか発表する。

を



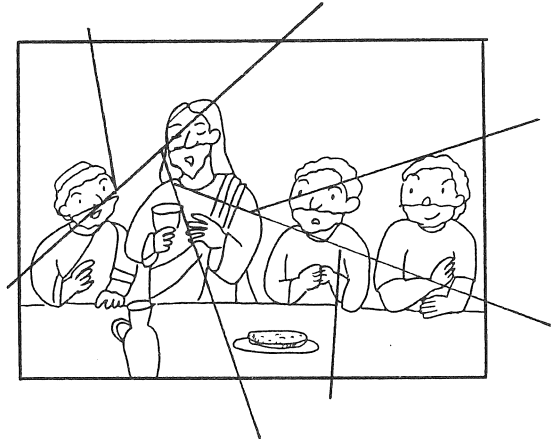
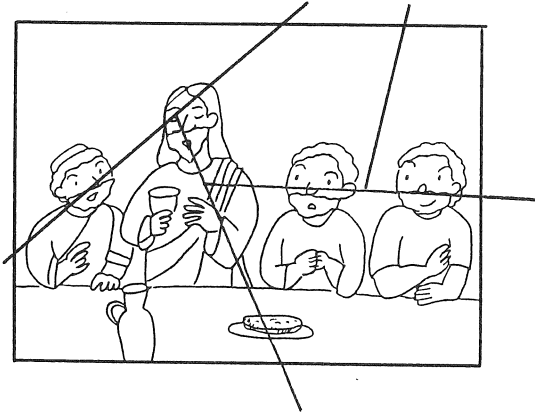
| | | |
|---|---|---|
| う | あ | し |
| り | ら | あ |

しゅがおいりょうなのです。

ルカ19・31

- ①絵に色を塗る。
- ②太線にそって絵を切り取る。
- ③先生が年齢に合わせて、パズルになるように切ってください。

切り方の例



ワーク A 解説 1~3月

1/4

●お話のヒント

皆さんは、心の中が「うそ・悪口・けんか・盗み…」などの罪で一杯になって、苦しくなったことがないですか？ イエス様はそのような時、「わたしの所に来なさい」と私たちを招いてくださいます。イエス様の所に行くとは、教会学校に出席し、私たちを愛してくださるイエス様のお言葉を聞いて信じることです。イエス様の所に行き、心の中の罪を赦^{ゆる}していただいて、安心と喜びの心で新しい一年を過ごしましょう。

●ワークについて

招いてくださるイエス様の所に行くなら、安心が与えられることを覚えましょう。

1/11

●お話のヒント

皆さんは、羊飼いのことを知っていますか？ 羊飼いは羊を愛して世話をし、危険から守り、羊が迷子になったら見つけるまで捜します。私たちの羊飼いであるイエス様は、羊のような私たちが幸せに過ごせるように、私たちを罪から守り、正しいことを教えてください。また、私たちが迷子になって神様から離れて罪を犯したなら、私たちが罪を悔い改めて神様の所に戻れるように、導いてくださいます。いつもよい羊飼いであるイエス様のもとで養われましょう。

●ワークについて

イエス様は私の羊飼いだということを覚えましょう。

1/18

●お話のヒント

38年間寝たきりの人がベテスダの池の横にいました。この池の水が動く時、最初に池に入った人の病気が治ると言われていたからです。この人に声をかけ、池に入れてくれる人は誰もいませんでしたが、この池に来られたイエス様は、この人の悲しみを知ってかわいそうに思い、「なおりたいのか」と声をかけ、歩けるようにされました。イエス様は私たちが悲しんだり苦しんだりする時、私たちをかわいそうに思ってそっと近づき、声をかけてくださいます。

●ワークについて

イエス様が男の人に近づき、優しく声をかけられたことを覚えましょう。

1/25

●お話のヒント

目が見えず、道ばたに座って人々から食べ物をもらっている男の人がいました。この人は、イエス様が通られることを聞き、「イエス様、わたしをあわれんでください」と、叱^{しか}られても叫び続けました。するとイエス様は男の人に目を留め、「わたしに何をしたいのか」と聞かれ、「見えるようにしてください」と、はっきり答えた男の人に応えて見えるようにしていただきました。イエス様は私たちがあきらめないで叫び続け、祈り続けるなら、必ず応えてくださいます。

●ワークについて

イエス様に、あなたの心の中の願いを、はっきりと言葉にして祈り続けましょう。

2/1

●お話のヒント

中風という手足が動かせなくなる病気の人がありました。この人の病気が治るように、4人の友だちがこの人をベッドに乗せ、家の屋根に穴をあけてベッドをつり下げて、イエス様の所に連れて行きました。イエス様は中風の人を見て、まず、「あなたの罪は赦^{ゆる}された」と言われたあと、病気を治されました。罪を赦^{ゆる}することが何より一番大切なことだからです。私たちがイエス様のもとに行く時、イエスはまず一番に私たちの罪を赦^{ゆる}して、私たちの心に平安を与えてくださいます。

●ワークについて

中風の人を屋根からつり下げて、イエス様の所に連れて行ったことを覚えましょう。

2/8

●お話のヒント

イエス様と弟子たちが舟で湖を渡っている時、突然嵐が起^{おこ}り、舟が沈みそうになりました。恐れた弟子たちは眠^ねっておられたイエス様を起^{おこ}しました。イエス様が「静まれ、黙れ」と風に向かって叱^{しか}られると、ピタリと風はやみました。イエス様は嵐を静めるだけでなく、何でもできる神様です。私たちはどんなことが起^{おこ}っても、何でもできるイエス様が共におられて助けてくださることを信じて、恐れずにおまかせしましょう。

●ワークについて

嵐を静められたイエス様は、わたしたちがイエス様を信じるように願^{ねが}っておられることを覚えましょう。

2/15

●お話のヒント

病気の娘を治すために、イエス様はヤイロの家に行くことになりましたが、途中で娘は死んでしまいました。「もうだめだ」と思ったヤイロに、イエス様は「ただ信じていなさい」と語られ、ヤイロの家に着くと、死んでしまった娘を生き返らせてくださいました。イエス様は、イエス様を信じ続ける人のために、死んでしまった人を生き返らせるほどのすばらしい力をあらわされます。私たちも「もうだめだ」と恐れず、イエス様を信じ続けましょう。

●ワークについて

イエス様が「少女よ、起きなさい」と言うと、死んだ娘が生き返ったことを覚えましょう。

2/22

●話し方のヒント

「愛」という言葉の本当の意味を知っていますか。聖書の中に出てくる「愛」は神様の愛です。この愛は、私たちのためにイエス様を十字架につけるほどの愛です。この愛について詳しく書いてあるのがⅠコリント13章です。私たちは神様の愛を知っています。この愛は永遠です。そして、この愛はいつも私たちに注がれています。私たちもこの愛を受ける者として、愛に生きるものとさせていただきましょう。

●ワークについて

み言葉を覚えるとともに、神様の愛を意識できるように部屋に飾りましょう。

3/1**●話し方のヒント**

仲良しの3人姉弟がいました。弟のラザロが病気になり、姉のマルタとマリヤはイエス様に治してくれるよう頼みました。しかし、イエス様が来られたのは、ラザロが死んでからでした。マルタとマリヤはイエス様がもっと早く来てくれたら、ラザロは死ぬことがなかったのにと訴えました。その訴えに対してイエス様は、ラザロの墓の前に立ち、「ラザロ、出てきなさい」と声をかけたのです。するとラザロは出てきました。神様は人のいのちを支配されるお方です。主の愛と復活のいのちに生かしていただきましょう。

●ワークについて

イエス様の言葉で、ラザロがよみがえったことを確認しましょう。

3/8**●話し方のヒント**

過ぎ越しの祭りの6日前、ベタニヤでのできごとです。イエス様のために食事が用意され、マルタは食事の準備をしていました。その席にラザロもいました。一方、マリヤは高価なナルドの香油をイエス様の頭に注いだのです。マリヤは大好きなイエス様のために、大事なものを使っても、惜しいと思いませんでした。しかし、ユダにはその行為が理解できなかったのです。イエス様はマリヤをほめられました。マリヤの注いだ香油の香りは、イエス様を愛する愛の香りでした。私たちはイエス様を愛することを、どのようにして表すことができるでしょうか。

●ワークについて

イエス様のために高価な香油をささげたマリヤを覚え、愛を表すために自分には何ができるのか考えましょう。

3/15**●話し方のヒント**

イエス様が、十字架にかかれる日が近づいてきました。イエス様は二人の弟子に、ろばの子を連れてくるように命じます。この当時、ろばは値打ちのないものという意味で使われていましたが、ろばは人を裏切らない動物でした。イエス様はろばの子に乗ってエルサレムに入城されたのです。私たちもろばの子と同じように小さい者ですが、神様のためにできることはあります。あなたはイエス様のために何ができますか。

●ワークについて

しゅろの葉を持ってイエス様を迎えた人はどのように思っていたのでしょうか。葉を動かしながら考えましょう。「隠された言葉がわかったら先生に教えてね」と子どもたちに探させてください。

3/22**●話し方のヒント**

最後の晩餐ばんさんと言われる食事の前のできごとです。ユダヤの国はとても乾燥していたので、歩いているとサンダルをはいた足は砂ぼこりで汚れていました。そのため、家に入ると奴隷が足を洗ってくれたのですが、この日は誰も洗だれってくれませんでした。すると突然、イエス様が席を立ち、弟子たちの足を洗い始めたのです。足を洗うことは、イエス様の愛のあらわれでした。そして、イエス様は私たちのために十字架への道を歩まれたのです。私たちもイエス様のように、まわりにいる人を愛しましょう。

●ワークについて

イエス様が十字架にかかる前、どのようなことを行われたかイエス様の愛を確認しましょう。

3/29**●話し方のヒント**

弟子たちとの最後の食事の時のことです。これは過ぎ越しの食事で、出エジプトを記念して行うものでした。その席でイエス様は、パンをさき、ぶどう酒の杯をとって感謝して、弟子たちに分けました。このパンとぶどう酒は、十字架につけられるイエス様の体と流す血を表しています。私たちはこの十字架のみ業によって救われたのです。イエス様の命懸けの愛を覚えましょう。

●ワークについて

最後の晩餐はどのように行われたのでしょうか。イエス様の愛を覚えましょう。